

めざす児童像

自分の考えや意見をもつことができ、  
友達の意見や立場を尊重することができる児童

## 資料名 「手品師」 出典「みんなの道徳」

めあて

手品師の葛藤する気持ちを考えることを通して、誠実に生きるよさに気づくことができる。

### ◎学習活動の様子

資料「手品師」は、売れない手品師が男の子に演技をし、また来る約束をしたが、友人から大劇場に立てるチャンスをもちかけられる。迷う手品師だが、次の日、男の子の前で演技をするという話である。



本時では、手品師が「A、男の子との約束を守るのか」「B、夢である大劇場のステージに立つことを選ぶのか」の葛藤の場面までを読み、児童にそれぞれの思いについて考えさせた。そこで、小集団にわかれ、それぞれの思いについて話し合い活動を行った。その際、自分の思いにとらわれず、A、Bどちらの思いについても考えを伝えられるようにした。



ねらいに迫るための指導の工夫として、話し合い活動の工夫を取り入れた。ワークシートに自分の思いを書く時間を十分に確保することで、話し合い活動への参加意欲を高めた。また、一人一人が考えを表現する時間を確保するために、小集団での話し合い活動を取り入れた。

成果

- ・小集団の話し合いと全体での話し合いの時間を設けたことで、友達の考えに触れる機会を十分にとることができた。
- ・ヒントカードとして話型を提示したことで、言葉のキャッチボールをすることができた。

課題

- ・大舞台に立つという夢と男の子との約束で葛藤する「手品師」を資料として扱ったが、児童はまだこのような場面に出くわしたことがないため、自分に置き換えて考えることが難しかった。